

デジタル行政の推進などに 対応するため 市の組織機構を見直しました



市は、新たな行政課題やさまざまな継続的課題に対し、迅速かつ柔軟に対応するため、組織機構を見直しました。

今回の見直しは、デジタル行政の推進、行政手続の簡素化・簡略化、教育ICT環境の最大限の活用、高度化・多様化する市民ニーズなどへの対応を基本方針としています。

詳しくは、☎総務課(☎2112)へ。

■デジタル行政推進課の設置

国が推進する行政のデジタル化に対応するため、総合政策部内にデジタル行政推進課を設置します。この課には、総務課から行政改革に関する業務を移管し、行政改革を市のデジタル化と一体的に推進します。これにより、各種申請など行政手続のデジタル化・オンライン化を推進します。また、行政手続の簡素化や業務の効率化など、市民サービスの向上を図ります。

■政策創造課の再編

業務がデジタル行政推進課に移管となる情報統計係、デジタル行政推進室をそれぞれ廃止、廃室します。

共生社会の推進を図るため、市民協働推進課の男女共同参画に関する業務を政策創造課に移管します。また、企画戦略係の業務とオリンピック・パラリンピック共生社会推進室の業務を集約し、企画戦略・共生社会推進係を置きます。これに伴い、オリンピック・パラリンピック共生社会推進室を廃室します。

国保あかぎ診療所のあり方について、幅広く多面的な改革を進めていくため、診療所経営改革室を診療所改革室に、経営改革係を改革係にそれぞれ改称します。

■納税課の再編

課内において十分な収納スキルやノウハウが継承・蓄積されたことから、特別収納対策室を廃室し、新たに特別収納係を置きます。

■伊香保行政センターと小野上行政センターの再編

よりフレキシブルで機動的な組織体制とするため、伊香保行政センターおよび小野上行政センターそれぞれの地域総務課と市民福祉課を統合し、地域サービス課を設置します。

■地域包括ケア課の再編

組織のスリム化・簡素化を図るため、指導検査室の業務を地域包括ケア課に移管し指導監査係とします。これに伴い、指導検査室を廃室します。

■農林課の再編

スケールメリットを生かせる組織体制とするため、流通係を廃止し、農政係と林政・有害鳥獣対策係の2係体制とします。

■GIGAスクール推進室の設置

教育ICT環境を最大限に活用するため、学校教育課内にGIGAスクール推進室を設置します。多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、資質・能力を一層確実に育成することを目指します。

■伊香保公民館の組織統合

スマートで効率的な組織体制とするため、徳富蘆花記念文学館を伊香保公民館の組織として統合します。

令和2年度3月補正予算の概要

問い合わせ先 ☎財務課(☎2414)

3月市議会定例会において議決された補正予算のうち、一般会計の主な事業についてお知らせします。

【主な事業】

■新型コロナウイルスワクチン接種の円滑な実施環境を整備(7,945万1千円)

■国の補正予算(第3号)に対応した事業

(1)赤城西麓用水対策事業(473万1千円)

(2)橋りょう維持補修事業(3,983万1千円)

(3)小中学校の感染症対策(2,120万円)

■寄付金を基金に積立(1億8,994万円)

3月補正予算の概要

(単位:千円)

会計名	補正前 予算額	3月補正 予算額	補正後 予算額	
一般会計	46,974,088	▲789,855	46,184,233	
特別会計	国民健康保険特別会計 (事業勘定)	9,003,604	110,148	9,113,752
	後期高齢者医療特別会計	1,158,507	▲22,946	1,135,561
	介護保険特別会計	9,368,975	7,398	9,376,373
	伊香保温泉観光施設事業 特別会計	275,858	▲17,917	257,941